

第2章 経 営

1 会計制度

精神医療センターは令和3年度から地方独立行政法人に移行した。

2 令和7年度決算

(税抜)

収益		
科目	決算額(円)	構成比(%)
経常収益	3,772,628,323	100.0
営業収益	3,764,860,736	99.8
医業収益	2,200,355,240	58.3
入院収益	1,886,866,068	50.0
外来収益	250,567,601	6.6
その他医業収益	63,156,542	1.7
保険等査定減	△ 234,971	0.0
運営費負担金収益	1,369,991,500	36.3
補助金等収益	58,492,871	1.6
寄附金収益	5,000	0.0
資産見返負債戻入	136,016,125	3.6
営業外収益	7,767,587	0.2
運営費負担金収益	1,753,000	0.0
貸倒引当金戻入益	97,420	0.0
財務収益	9,426	0.0
その他営業外収益	5,907,741	0.2
臨時利益	-	-

費用		
科目	決算額(円)	構成比(%)
経常費用	3,874,459,483	100.0
営業費用	3,783,202,554	97.7
医業費用	3,783,202,554	97.7
給与費	2,654,194,553	68.5
材料費	159,485,448	4.1
経費	657,470,275	17.0
減価償却費	301,751,930	7.8
研究研修費	10,300,348	0.3
一般管理費	-	0.0
営業外費用	91,256,929	2.3
財務費用	3,608,458	0.1
雑支出	27,148	0.0
控除対象外消費税	87,621,323	2.2
臨時損失	2,103,405	-
固定資産除却損	2,103,405	-
その他臨時損失	-	-

営業損益	△ 18,341,818
経常損益	△ 101,831,160
純損益	△ 103,934,565

※ 構成比は経常収益、経常費用に対する割合（臨時利益、臨時損失は含まない）

3 改善への取組

(1) 経営改善戦略会議

精神医療センターの経営改善に資するため「経営改善戦略会議」を設置し、運営状況、医業収入・支出状況、経営改善スローガンと運営上の課題等について毎月、分析・検討を行っている。

<地方独立行政法人埼玉県立病院機構 令和7年度 年度計画における各指標の実績>

	年度計画の指標	目標値	実績値	評価
共通目標	紹介率（％）	58.0	48.9	B
	逆紹介率（％）	62.0	55.7	B
	入院患者満足度（％）	80.0	86.3	A
	外来患者満足度（％）	85.0	86.7	A
	相談件数（件）	34,500	41,971	S
	ホームページ更新回数（回）	28	34	S
	クリニカルパス適用率（％）	40.0	37.5	B
	インシデント・アクシデント報告件数に占めるレベル0の割合（％）	42.0	40.4	B
	院内感染対策委員会開催回数（回）	12	12	A
	職員満足度（％）	75.0	75.1	A
	新規外来患者数（人）	913	1,308	S
	病床利用率（％）	84.5	83.1	B
	材料費対医業収益比率（％）※	7.0	7.5	B
	後発医薬品の割合（数量ベース）（％）	80.0	85.6	A
独自目標	依存症プログラムの年間参加延べ人数（人）	6,600	6,742	A
	依存症治療拠点機関・専門医療機関としての講師派遣件数（件）	9	24	S
	依存症治療拠点機関・専門医療機関としての研修開催参加施設団体数（団体）	56	200	S
	児童思春期入院患者の実患者数（人）	68	88	S
	精神科救急対応年間延べ患者数（人）	265	382	S
	クロザピン処方実患者数（人）	30	63	S
	クロザピン新規導入患者数（人）	6	10	S
	診療所等入院要請受入延べ患者数（人）	130	256	S
	保健所への技術協力への医師の参加回数（回）	97	98	A
	精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における入院件数（件）	75	112	S
	地域連携部門を経由した入院件数（件）	144	198	S
	行動制限に関する研修参加人数（人）	156	348	S
	CVPPP研修の参加人数（人）	370	388	A
	TQM推進だよりの発行回数（回）	3	3	A

評価（5段階）の基準

S：目標値の120％以上 A：目標値の100％以上120％未満 B：目標値の80％以上100％未満

C：目標値の60％以上80％未満 D：目標値の60％未満

※：「材料費対医業収益比率」はより低い割合を目標としている指標のため、目標を下回った割合を達成状況として評価する。

(2) 患者満足度調査

より良い医療サービスを提供していくために、アンケートを実施し、患者や保護者の方の率直な御意見を伺い、病院の改善に役立てている。

(3) 経営改善スローガン

部署ごとに経営改善スローガンを掲げ、運営上の課題、経営目標、目標数値、目標達成のためにに向けた戦略を設定し、毎月の会議で報告及び分析を行い、連携して経営改善の取り組みを行っている。

<令和7年度 各部署の経営改善スローガン>

部署	経営改善スローガン
第1病棟	チームの力を最大限に発揮しよう
第2病棟	積極的かつ迅速な入院受入れ～高い稼働力を目指して～
第5病棟	患者と家族の参画を重視した、質の高い医療の提供を目指す
第6病棟	多職種連携で「断らない救急医療」と「退院促進」を目指す
第7病棟	チーム力で医療の質を高め、支援の充実を目指す
外来	心に寄り添う「ようこそ外来」
入退院支援センター 入退院支援部門	チームの支援をそっと後押し～地域移行を一步前へ～
入退院支援センター 地域連携部門	地域医療機関との連携窓口として、チーム一丸となって取り組もう
依存症治療研究部	「臨床も、研究も」
療養援助部	多職種によるチームワークにより、病院経営及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に貢献する
検査部	円滑な業務フォロー体制を再構築して、生理機能検査 TAT を短縮する
薬剤部	薬物療法の有効性、安全性の確保と経営改善への貢献
栄養部	入院時から退院後まで「一気通貫／ワンストップ」の栄養管理
看護部	一人一人が専門性の高い看護を実践し、病院経営に貢献する
医療安全管理室	チームワークを高めて、医療の質と安全性の向上を図る
医事担当	変化に柔軟に対応し、医療の質向上をサポートする

(4) 精神科入退院支援加算の算定

入院受入と退院を円滑にし、より多くの患者が医療を受けられるよう、令和7年4月に入退院支援センターを開設した。退院困難が予想される患者に対し、入院早期から包括的支援マネジメントを行い、入退院支援を充実させた。これにより、令和6年度診療報酬改定により新たに追加された「精神科入退院支援加算」の算定を開始し、収益改善に繋げている。